

平成30年12月13日 00408号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



ニュースレター【事務局情報】柔道強化安全指導講習会の開催！

11月18日(日)北見市柔道協会柔道強化講習会が北見市武道館で行われました。小中学生を対象に北海道警察に勤務する本保孝人(講道館五段)、一戸勇人(講道館五段)白井元彦(講道館参段)の3人の講師による実技講習が行われ、少年少女が熱心に取り組んでいました。また、柔道指導者向けに北見柔道連盟理事長大川博司(講道館六段)が安全指導講習を行い、改めて柔道指導における安全を確認しました。

武道振興協会事務所の花シリーズ 「花キャベツ」買いました！

花キャベツまたは葉ボタンといわれ葉を鑑賞するキャベツの仲間です。色彩葉の形も多種売られて華やかな美しい花です。これは市販の品です。(渋谷)

連載「武道宝鑑」第21弾「竹内流腰廻りより講道館柔道まで」(2回目)

講道館七段 櫻庭 武 『時に天文元壬辰六月、愛宕神を信じ云々』とあるのが

之である。この流れははじめ、所謂腰廻りが二十五カ條、捕手五カ條あった様である。

竹内流に次いで古い流派は、荒木流であろうか。荒木流再誕の序というものには『夫れ當流の源を尋るに、天正の頃、太閤秀吉の御時、藤原勝實當流の元祖なり』とあり、勝實が一百日の間、神殿に籠って、奥義を究めたもので、豊臣秀次の賞賛を得た旨も記している。しかし一般には、荒木流は荒木無人齋の伝えたものとしており、荒木流倒位教伝にも、荒木無人齋源秀繩なる名を、真先に書いているところを見ると、無人齋は藤原勝實に教えを受けて、別に荒木流を起こしたものか、或いは藤原勝實なるものは、荒木流の古さを飾るための仮託の人物なるか、又は無人齋と勝實とは異名同人なるか、その点疑わしい。とにかく荒木流は、多くの人によって、最も古きものの一つであると認められているものである。右の荒木流を以て豊臣時代の創始とするならば、之より僅かに・・・つづく

